

農福連携による町内での就労を目指し、地域の関係機関が連携して取り組む作業学習

北海道平取養護学校(平取町)



【作業に取り組む生徒たち】

【取組の概要】

- これまでは、農家とJAの協力の下、トマト栽培及び選果作業を現場で学習。
- これに加え、令和5年、校内に農業用ハウスが設置されることが決まったことを契機に、平取町の呼びかけにより、町農業支援センター、学校後援会、農業改良普及センター、JA及び農家が連携し、農業用ハウス建設の助言からトマトの栽培技術指導まで一貫して学校の作業学習を支援する体制を整備。
- 関係機関の連携により、町の特産品であるトマトの栽培から販売までの作業学習を行うことが可能となった。

【取組の成果】

- 学校は、関係機関の協力を得て生徒の就労先の選択肢になりえるトマト栽培の学習を進めることが可能となった。
- 生徒は、栽培しているトマトの生長に期待感を持って作業に取り組むことができている他、収穫したトマトのおいしさを実感することにより農業の楽しさを知ることができている。
- 販売学習ではお客様から声を掛けてもらうことで自覚や意欲が湧いてきており、自ら言葉を発することで人との関わりを持つことができるようになってきた。

【施設等の概要】

- 名称:北海道平取養護学校
- 所在地:沙流郡平取町本町112-7
- 栽培品目:トマト、ピーマン、スイカなど
- 連絡先TEL:01457-2-3178 ※要相談



【トマトの収穫作業】



【水やり作業】

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 現場や販売会までの交通手段の確保
→町の手配により、平取町社会福祉協議会の車両で送迎。
- ハウス内における安全な作業の実施
→畝間を広くし移動を容易に行えるように工夫。
一人一人の生徒に合わせた作業場所の設定。
- 生徒が理解しやすい作業の指示
→図示や職員の実演を取り入れて実施。

【今後の展望】

- トマト栽培に必要な農作業の知識や技能を在学中に身に付けることで、卒業後の進路として町内での就農も選択肢の一つとしたい。
- 関係機関の協力を得ながら、卒業後の町内での生活の場(グループホーム等)の確保をはじめとする諸課題を解決していきたい。



【収穫したトマト】



【販売会の様子】